

タグ装着楽々

が、水産仕様のタグ取付機「バノックガン 503 B m」は片手で連続打ちが可能で作業効率を格段にアップ。全国で普及が進んでいる。

船上活じめ処理などで付加価値を高めた鮮魚に装着されているブランドラベルは、これまでほとんど両手を使って一枚ずつ打ち付けていた

バノック水産専用ガン 片手で連続打ち 作業効率向上 耐水性も

衣料品用タグ取付機トップメーカーの(株)日本バノックが開発。ガンにタグホルダーの付いたB m専用取付機に50本束になったB mピンを装着し、片手で次々と打ち付けられる。作業中に発生するピンの切れ端は「ランナーボックス」に自動収納。海や甲板、荷捌所の床に落とす心配もない。

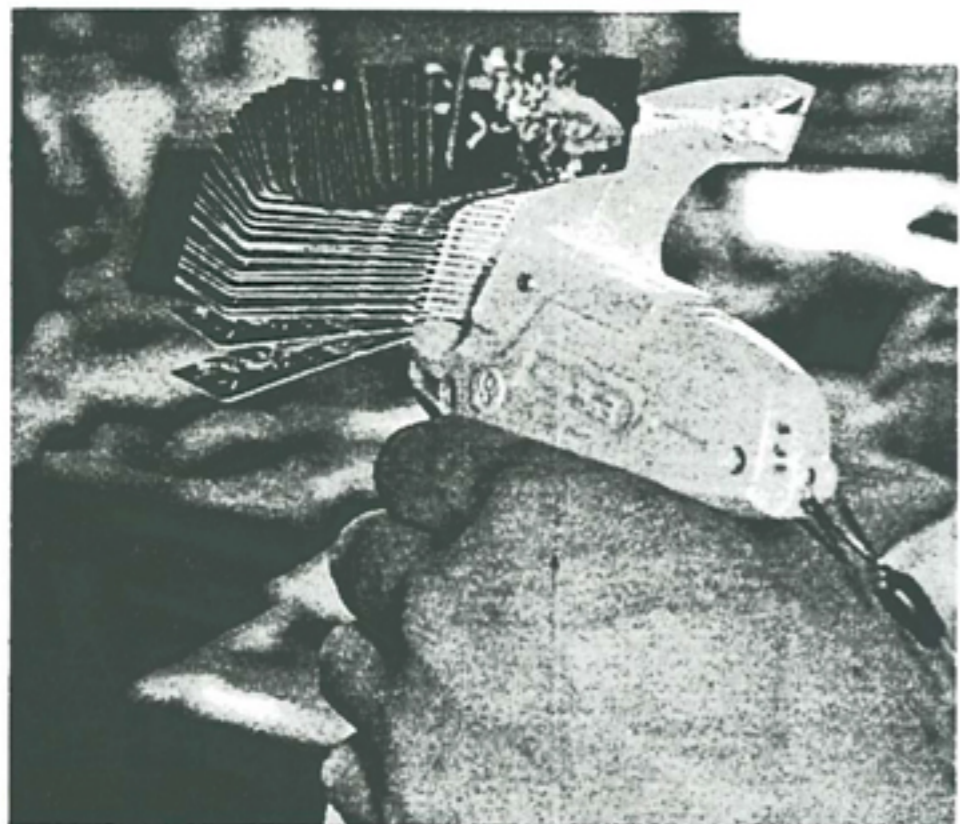
ガンの組み立てに使うネジ類はすべてステンレス製で耐水・耐塩仕様だ。ラミネート加工したB m表面はフィルムで覆われており、防水性に優れていることに加え、印刷面が食品と直接触れず衛生上も安心。松前さくら漁協直販センターでは、冷凍前のマグロ柵にバノックガンで「赤身」「中トロ」「下ロ」のタグを付けている。「外れにくく安心」という評価も。

本体1個1万5千円。B mピンはデザインなど打ち合わせ後の受注生産で販売ロット1万枚から片面印刷1枚15円、両面印刷20円。トレーサビリティに対応するQR・バーコード印刷も可能だ。西日本ではトラフグやマダイ、ハモ、ヒラメなどの活魚や各種ラウンド鮮魚でかなり普及。「越前ガニ」「松葉ガニ」がブランドの北陸・山陰地方では、締め込みタイプのB mバンドが使われている。

同社では今後、東北・北海道の活魚や活じめ高級鮮魚もターゲットにして、販売エリアを拡大する構えだ。

問い合わせ先

(株)日本バノック
東京都文京区関口1丁目43-5
新目白ビル7階
TEL 03・5287・1181
(第3営業部)
FAX 03・5287・2022



片手で連続打ちできるバノックガン503 B m(上)と従来品を使い両手で1枚ずつタグを取り付ける漁業者(昨年6月、昆布森漁協)